

平成20年度 事業報告書

自 平成20年4月1日

至 平成21年3月31日

【I】基本方針

余暇時間の増大、高齢化の進行など社会環境の変化は、人々の生活様式にも急激な変化をもたらし、国民の健康に関する意識の向上と共に、スポーツに寄せる関心は益々高まりを見せています。

このような情勢下、スポーツ科学の振興を目的とする当財団ではこの期待に応えるべく、改めて事業の重要性を認識し、事業活動の推進を図ってまいりました。

まず、健康の増進と体力向上及びスポーツに関連する学術研究の助成事業では、財団選定テーマによる研究委託並びに研究課題公募による研究助成を引き続き実施いたしました。

一方、財団法人日本体育協会への助成を行い、国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与するとともに、財団法人日本オリンピック委員会に対しても、オリンピック事業の推進並びにトップレベルの選手育成・強化を目的として同様の助成を行いました。また、スポーツ科学の国際交流推進を目的として日本体力医学会へ助成を行いました。

なお、平成19年度の事業成果を広く関係者に公表するため、機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.29を発行いたしました。

【II】事業計画

(1)健康の増進と体力の向上及びスポーツ関連科学に関する研究委託並びに調査・研究に対する助成。

1)研究委託（1件 100万円）

学術委員会・選考委員会において審議の結果、下記1件を選定し、本年度委託研究テーマとして研究を委託いたします。

①「日本人の健康関連体力指標最大酸素摂取量の基準値」

東京慈恵会医科大学

鈴木 政登

2)自由課題研究（総額1,100万円）

全国にわたる98の大学または、その他の学校、研究機関より応募された161件の課題の中から学術委員会・選考委員会の審査の結果、下記20件に対し助成を行いました。

●最優秀入選（各 100 万円）

- ①「運動時の呼吸循環応答に及ぼす低酸素暴露後の影響について」
名古屋大学 片山 敬章
- ②「間欠的人工低酸素環境曝露を伴う筋力トレーニング処方の開発」
東京大学 禰屋 光男

●優秀入選（各 50 万円）

- ①「素材の吸湿性・吸水性の有無がタイトフィットスポーツウェア着用時における運動時の衣服内気候に及ぼす影響」
神戸大学 井上 真理
- ②「メタボリックシンドロームの予防と解消のための効果的な骨格筋増量法の確立」
豊橋創造大学 大野 善隆
- ③「遅発性筋肉痛と運動形態の関連性」
早稲田大学 栗原 俊之
- ④「伸張性運動後の温熱処置が筋痛・筋損傷に及ぼす影響」
順天堂大学 佐賀 典生
- ⑤「低酸素下での短時間高強度インターバル運動中休息時の高酸素吸入が発揮パワーに及ぼす影響」
筑波大学 小川 剛司
- ⑥「運動負荷中及び終了後の中心血圧測定による心血管系リスク評価の有効性の検討」
大阪教育大学 宮井 信行
- ⑦「コルチゾールとアミラーゼ活性を指標とした局所と全身の温熱的快適性評価」
福岡女子大学 深沢 太香子
- ⑧「運動後低血圧に対する水分摂取の効果」
県立広島大学 三浦 朗
- ⑨「超音波粘弾性計測システムを用いた筋力評価の有効性の検討」
九州大学 村木 里志
- ⑩「in situ シリカ充てん天然ゴムのスポーツ用素材への可能性試験」
京都工芸繊維大学 池田 裕子
- ⑪「回内足、回外足、扁平足、ハイアーチといった足首障害の矯正または成長期における予防インナーソックスの開発計画」
慶應義塾大学 仰木 裕嗣
- ⑫「中年肥満男性に対するコーチング理論に基づいたメタボリックシンドローム予防・改善プログラムの有効性—情報提供群との比較検討—」
高知大学 都竹 茂樹
- ⑬「脊椎損傷患者における体力増強を目的とした機能的電気刺激を用いたトレッドミル歩行」
トロントリハビリ病院 宮谷 昌枝
- ⑭「運動が作業筋皮膚表面乳酸濃度に及ぼす影響」
名古屋工業大学 大桑 哲男

- ⑮「活動筋の酸素供給と消費の過渡応答を非侵襲計測するシステムの開発」
神戸芸術工科大学 古賀 俊策
- ⑯「競走馬調教軽労化のための騎手用筋力補助装置の開発」
北海道大学 田中 孝之
- ⑰「家庭用エクササイズ支援ゲーム機(Exergame)を用いた肥満小児の
減量効果に関する研究」
三重大学 富樫 健二
- ⑱「休息間の脚部冷却が暑熱環境下における間欠的運動能力及び
生体負担度に及ぼす影響」
広島大学 長谷川 博

以上、研究委託1件、自由課題研究20件の研究成果報告につきましては、平成21年6月発行予定の機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.30において広くわが国の研究機関、関係者に公表いたします。

- (2)スポーツ科学の国際交流を目的とする団体の助成（100万円）
諸外国とのスポーツ科学における人的・学問的交流を積極的に推進するため、日本体力医学会への助成を行いました。
- (3)スポーツの振興・発展を目的とする団体の助成（250万円）
国民スポーツのより一層の健全な普及・発展に寄与するため、財団法人日本体育協会に助成を行いました。
- (4)わが国のオリンピック事業の推進を目的とする団体の助成（250万円）
オリンピック事業の推進並びにトップレベルの選手育成・強化に寄与するため、財団法人日本オリンピック委員会に助成を行いました。
- (5)スポーツの施設・用具・衣服に関する学術的資料の収集、保存及び公開、本財団の事業推進に関し必要と思われる学術的資料の収集を図るため、日本体力医学会、社団法人繊維学会、社団法人日本繊維製品消費科学会等に対し賛助を行いました。

【Ⅲ】活動報告

(1)機関誌「デサントスポーツ科学」Vol.29 発行

平成 20 年 6 月

(2)第 30 回定時総会及び助成金目録贈呈式

日時： 平成 20 年 6 月 5 日（木）

11:30～11:45 理事会・評議員会

11:45～12:30 助成金目録贈呈式

12:30～13:30 懇親会

場所： 株式会社 デサント 東京オフィス

議題： ①平成 19 年度事業報告書承認の件

②平成 19 年度収支決算書承認の件

③その他

(3)第 30 回学術研究委託及び自由課題学術研究助成金交付

平成 20 年 7 月 25 日

(4)第 31 回自由課題学術研究公募開始

平成 20 年 9 月 1 日

(5)第 31 回自由課題学術研究公募締切

平成 20 年 11 月 10 日

(6)第 31 回自由課題学術研究公募申請書審査

平成 20 年 11 月 10 日～平成 21 年 2 月 24 日

(7)財団法人日本オリンピック委員会、財団法人日本体育協会ならびに

日本体力医学会への寄附金交付

平成 20 年 12 月 25 日

(8)学術委員会・選考委員会

日時： 平成 21 年 2 月 24 日（水） 12:00～14:00

場所： 株式会社 デサント 東京オフィス

議題： ①第 31 回自由課題学術研究公募審査の件

②学術研究委託選定の件

③その他

(9)理事会・評議員会（書面）

月日： 平成 21 年 3 月 27 日（金）

議題： ①平成 21 年度事業計画書案承認の件

②平成 21 年度収支予算書案承認の件

以 上

貸借対照表

平成21年3月31日現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,462,378	11,313,977	△ 8,851,599
流動資産合計	2,462,378	11,313,977	△ 8,851,599
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	576,137,150	576,137,150	0
基本財産合計	576,137,150	576,137,150	0
(2) 特定資産			
助成金積立預金	10,000,000	10,000,000	0
特定資産合計	10,000,000	10,000,000	0
固定資産合計	586,137,150	586,137,150	0
資産合計	588,599,528	597,451,127	△ 8,851,599
II 負債の部	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基本金	576,137,150	576,137,150	0
指定正味財産合計	576,137,150	576,137,150	0
(うち基本財産への充当額)	(576,137,150)	(576,137,150)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	12,462,378	21,313,977	△ 8,851,599
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
正味財産合計	588,599,528	597,451,127	△ 8,851,599
負債及び正味財産合計	588,599,528	597,451,127	△ 8,851,599

正味財産増減計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	10,790,712	19,625,606	△ 8,834,894
基本財産受取配当金	10,659,201	10,659,201	0
基本財産運用益計	21,449,913	30,284,807	△ 8,834,894
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	29,999	30,081	△ 82
③ 雑収益			
受取利息	13,590	20,250	△ 6,660
雑収益	14,486	9,134	5,352
雑収益計	28,076	29,384	△ 1,308
経常収益計	21,507,988	30,344,272	△ 8,836,284
(2) 経常費用			
① 事業費			
委託研究費	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000
助成金支出	11,000,000	11,000,000	0
寄付金支出	6,000,000	6,000,000	0
資料収集調査費	1,275,000	1,370,000	△ 95,000
印刷製本費	6,964,820	6,788,766	176,054
事業費計	26,239,820	27,158,766	△ 918,946
② 管理費			
支払報酬	1,197,219	1,066,664	130,555
会議費	1,479,978	1,424,613	55,365
旅費交通費	1,327,000	1,177,000	150,000
通信運搬費	71,090	59,320	11,770
消耗品費	0	0	0
雑費	44,480	54,610	△ 10,130
管理費計	4,119,767	3,782,207	337,560
経常費用計	30,359,587	30,940,973	△ 581,386
当期経常増減額	△ 8,851,599	△ 596,701	△ 8,254,898
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,851,599	△ 596,701	△ 8,254,898
一般正味財産期首残高	21,313,977	21,910,678	△ 596,701
一般正味財産期末残高	12,462,378	21,313,977	△ 8,851,599
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	576,137,150	576,137,150	0
指定正味財産期末残高	576,137,150	576,137,150	0
III 正味財産期末残高	588,599,528	597,451,127	△ 8,851,599

正味財産増減計算書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	10,790,712	19,625,606	△ 8,834,894
基本財産受取配当金	10,659,201	10,659,201	0
基本財産運用益計	21,449,913	30,284,807	△ 8,834,894
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	29,999	30,081	△ 82
③ 雑収益			
受取利息	13,590	20,250	△ 6,660
雑収益	14,486	9,134	5,352
雑収益計	28,076	29,384	△ 1,308
経常収益計	21,507,988	30,344,272	△ 8,836,284
(2) 経常費用			
① 事業費			
委託研究費	1,000,000	2,000,000	△ 1,000,000
助成金支出	11,000,000	11,000,000	0
寄付金支出	6,000,000	6,000,000	0
資料収集調査費	1,275,000	1,370,000	△ 95,000
印刷製本費	6,964,820	6,788,766	176,054
事業費計	26,239,820	27,158,766	△ 918,946
② 管理費			
支払報酬	1,197,219	1,066,664	130,555
会議費	1,479,978	1,424,613	55,365
旅費交通費	1,327,000	1,177,000	150,000
通信運搬費	71,090	59,320	11,770
消耗品費	0	0	0
雑費	44,480	54,610	△ 10,130
管理費計	4,119,767	3,782,207	337,560
経常費用計	30,359,587	30,940,973	△ 581,386
当期経常増減額	△ 8,851,599	△ 596,701	△ 8,254,898
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 8,851,599	△ 596,701	△ 8,254,898
一般正味財産期首残高	21,313,977	21,910,678	△ 596,701
一般正味財産期末残高	12,462,378	21,313,977	△ 8,851,599
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	576,137,150	576,137,150	0
指定正味財産期末残高	576,137,150	576,137,150	0
III 正味財産期末残高	588,599,528	597,451,127	△ 8,851,599

財 産 目 録
平成21年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
普通預金 三井住友銀行船場支店	596,512		
普通預金 北國銀行大阪支店	1,865,866		
流動資産合計		2,462,378	
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券			
スウェーデン地方金融公社債	100,000,000		
ノルウェー輸出金融公社債	200,000,000		
BTM CURA HLDG FR(円建永久劣後社債)	100,000,000		
利付国庫債券(10年)第238回5月	100,000,000		
株式会社デザート株式(1,522,743株)	76,137,150		
基本財産合計	576,137,150		
(2) 特定資産			
助成金積立預金			
定期預金 三井住友銀行船場支店	10,000,000		
特定資産合計	10,000,000		
固定資産合計		586,137,150	
資産合計			588,599,528
II 負債の部			
負債合計			0
正味財産			588,599,528

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

投資有価証券については、総平均法による原価法によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	576,137,150	21,449,913	21,449,913	576,137,150
小計	576,137,150	21,449,913	21,449,913	576,137,150
特定資産				
助成金積立預金	10,000,000	29,999	29,999	10,000,000
小計	10,000,000	29,999	29,999	10,000,000
合計	586,137,150	21,479,912	21,479,912	586,137,150

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	576,137,150	576,137,150	0	0
小計	576,137,150	576,137,150	0	0
特定資産				
助成金積立預金	10,000,000	0	10,000,000	0
小計	10,000,000	0	10,000,000	0
合計	586,137,150	576,137,150	10,000,000	0

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	帳簿価額	時価	評価損益
投資有価証券			
スウェーデン地方金融公社債	100,000,000	64,000,000	△ 36,000,000
ノルウェー輸出金融公社債	200,000,000	129,680,000	△ 70,320,000
BTM CURA HLDG FR(円建永久劣後社債)	100,000,000	97,500,000	△ 2,500,000
利付国庫債券(10年)第238回5月	100,000,000	102,570,000	2,570,000
合計	500,000,000	393,750,000	△ 106,250,000

収 支 計 算 書

平成20年4月1日から平成21年3月31日まで

(単位：円)

科目	予算額	決算額	増減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用収入			
基本財産利息収入	19,170,000	10,790,712	△ 8,379,288
基本財産配当金収入	10,640,000	10,659,201	19,201
基本財産運用収入計	29,810,000	21,449,913	△ 8,360,087
②特定資産運用収入			
特定資産利息収入	0	29,999	29,999
特定資産運用収入計	0	29,999	29,999
③雑収入			
受取利息収入	15,400	13,590	△ 1,810
雑収入	0	14,486	14,486
雑収入計	15,400	28,076	12,676
④寄付金収入			
寄付金収入	0	0	0
寄付金収入計	0	0	0
事業活動収入計	29,825,400	21,507,988	△ 8,317,412
2. 事業活動支出			
①事業費支出			
委託研究費	1,000,000	1,000,000	0
助成金支出	11,000,000	11,000,000	0
寄付金支出	6,000,000	6,000,000	0
資料収集調査費	1,400,000	1,275,000	△ 125,000
印刷製本費	7,000,000	6,964,820	△ 35,180
事業費支出計	26,400,000	26,239,820	△ 160,180
②管理費支出			
支払報酬	1,200,000	1,197,219	△ 2,781
会議費	1,430,000	1,479,978	49,978
旅費交通費	1,531,000	1,327,000	△ 204,000
通信運搬費	45,000	71,090	26,090
消耗品費	40,000	0	△ 40,000
雑費	55,300	44,480	△ 10,820
管理費支出計	4,301,300	4,119,767	△ 181,533
事業活動支出計	30,701,300	30,359,587	△ 341,713
事業活動収支差額	△ 875,900	△ 8,851,599	△ 7,975,699
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
特定資産取崩収入			
助成金積立預金取崩収入	0	0	0
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定資産取得支出			
助成金積立預金取得支出	0	0	0
投資活動支出計	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入	0	0	0
2. 財務活動支出	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
IV 予備費支出	500,000	0	△ 500,000
当期収支差額	△ 1,375,900	△ 8,851,599	△ 7,475,699
前期繰越収支差額	11,118,673	11,313,977	195,304
次期繰越収支差額	9,742,773	2,462,378	△ 7,280,395

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金（基本財産となるもの及び特定預金を除く）及び未収入金、未払金など短期債権・債務を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は、2. に記載のとおりである。

2. 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	11,313,977	2,462,378
合計	11,313,977	2,462,378